

綾瀬川デザインワークショップ 水辺利活用方法・整備内容 ワークショップ総括案 (1/2)

区分	利活用の方向性	利活用方法	整備内容	課題			
河川	利用	地域住民や沿川施設利用者等が安全・安心・快適に楽しく回遊でき、人の交流が生まれる場	① 動線の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院は両岸で交流できるように（横断方向の動線）【A】 ・ 左右岸を統一的に利用したい（横断方向の動線）【A・D】 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人道橋【A・D】 2. 美園小学校に行ける橋【A】 		
		 水辺沿いのカフェ	② 休憩・にぎわい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多目的利用できるオープンスペース・休憩施設【E】 ・ 川沿いににぎわいの場が欲しい【B・D・E】 ・ 滞在時間の長くなる遊歩道（目的地となるスポットを設置）【D】 ・ 住民が主体的に利用できる空間が良い【B】 ・ 川沿いの民間施設と一体的な水辺【D】 ・ 子供たちが集まり、高齢者の生きがいづくりの場【D】 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ベンチ【E】 2. 病院のデッキにカフェやボードウォーク【A】 3. 川沿いに飲食店・オープンカフェ【B・D・E】 4. 川沿いの残地を活かした公園（遊具や砂場）【B・E】 5. 子供や高齢者が集まる空間【D】 		
		 水辺照明施設	③ 利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看板やトイレ、水道などの施設が欲しい【A・D・E】 ・ 地区の歴史や地名、橋名の由来を後世に残す【D】 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看板、案内板（地区の歴史などの紹介）【A・D】 2. トイレ、多目的トイレ（人目のある場所、男女比1:3程度）【A・D・E】 3. 水道【D】 4. 駐車場、駐輪場【D】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ トイレなどの施設の維持管理の仕組みづくり【E】 ・ 住民参加に際し、左岸側と右岸側とで共通の意識が必要【D】 	
			④ 防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯やまちのにぎわいのため、夜間の水辺を明るくしたい【A・E】 ・ 川沿いの見通しが良くなるよう整備【A】 ・ 通勤、通学路として利用できる安全な道【E】 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 照明施設（太陽光発電や風力発電、Wifi機能付き、避難誘導等、多機能なもの）【A・E】 2. ポラス住居地のように、夜になると水辺の住居のライトが自動点灯（要協議）【A】 		
	自然	上流・下流とつながり、地域住民が健康づくり・スポーツに取り組める場	マラソンランニングウォーキングサイクリング	⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・ マラソン大会をしたい【A・B】 ・ ランニングコースとして利用したい【A・B】 ・ 安全なウォーキングスペースとしたい【A・D】 ・ 大通りの下を通れるようにしたい（縦断方向の動線）【A、E】 ・ 自転車も安全に通行できるようにしたい（高校生の通学路など）【A・E】 ・ 草加まで連続させる【A】 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 距離標【A・B】 2. 遊歩道（統一性のある舗装、クッション性のある舗装）【A・B・D】 3. 歩行者路と自転車路の分離（自転車道）【A・D・E】 4. 橋のアンダーパス【A、E】 5. サイクリングステーション（レンタサイクル、空気入れ）【A・E】 6. フルマラソン道（草加から連続）【A】 7. ランニングステーション（埼スタ）【A・B】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人が増えるとゴミが増える【A】
				⑥ 水遊び・親水	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供が遊べる親水公園【A・D・E】 ・ 川を活用したアクティビティ【D】 ・ 川に近づく動線が必要【D】 ・ 魚釣り【D】 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公園に水を引き込む、水深の浅い場所をつくる【A・D】 2. 水辺に近づける護岸（階段護岸、緩勾配の斜面）【D】 3. 釣り場【D】 4. 水質改善（汚泥対策も）【A・B・D・E】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川に対する認識の改革が必要（汚い・怖い・近寄らない）【D】 ・ 草地は草刈り等を行い管理する必要がある【E】 ・ 芝生は管理が難しい【A】 ・ 安全性の確保が必要【B・E】
				⑦ 舟運	<ul style="list-style-type: none"> ・ 舟運を復活させたい【B】 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 船着場【B】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川幅が狭く舟運は厳しいのではない【B】
	自然	多様な生物が棲み、子供が自然と触れ合える場		⑧ 植栽	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連続した並木が欲しい【A・B・E】 ・ 花見（桜など）ができる場所【A】 ・ 河道内にも植栽する（ショウブなど）【A】 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 河川沿いに連続した並木を植栽（桜や四季を感じる植物）【A・B・E】 2. 植木の産地であることを生かし住民購入・住民管理で植木を植える【B】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 樹木の毛虫対策【E】 ・ 私有地を利用した公共空間整備の場合は私有地側のセキュリティ対策が必要【A】
					⑨ 自然保全 自然体感	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供と自然（水辺生物）のふれあいの場が欲しい（生物調査等）【A・D】 ・ 生物がすみやすく多様な生物（ザリガニ、フナ、ホタルなど）が生息する場が必要【A・D・E】 ・ 専門家による調査【D】 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビオトープ（自然の水族館）【D】 2. 水質改善【A・B・D・E】
		沿川敷地の緑					

【 】：ワークショップにおいて意見のあった班名（ワークショップはA、B、D、E班の4班体制で実施）

綾瀬川デザインワークショップ 水辺利活用方法・整備内容 ワークショップ総括案 (2/2)

区分	利活用の方向性	利活用方法	整備内容	課題			
調節池 (大門上池)	利用 埼玉公園と連携して外から人を呼び込む賑わい・交流の場  イベント開催 地域住民が様々なスポーツや健康づくりができる場  スポーツ活用	⑩ キャンプ バーベキュー	・ キャンプ場・バーベキュー場として活用したい【B・E】	1. バーベキュー広場 (BBQ 機材の貸出を周辺店舗が実施するなど)【B・D・E】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域経済活動の必要性の認識【D】 ・ 使用ルールづくり (騒音、ゴミ、臭い、飲酒等)【E】 ・ 小学校や地域の理解【E】 ・ 施設の維持管理の仕組みづくり (洪水後の掃除なども含)【B・D・E】 ・ 安全性の確保【E】 ・ 制度や費用のリスクを負わない方法【D】 ・ 洪水時の芝生広場浸水による芝生育への影響確認【D】 		
		⑪ 二輪スポーツ活用	・ 二輪イベントの開催 (メッカに)【D】 ・ ペダル無し自転車 (ストライダー) の練習や競技に利用【E】	1. 池底の平坦なアスファルト舗装【D・E】 2. 調整池斜面の観客席【D】 3. 池周囲の柵設置 (安全性確保)【D】			
		⑫ イベント活用 スポーツ活用	・ 音楽イベントや食フェスなど、サッカー関連以外のイベント利用【D・E】 ・ 様々なスポーツができる場所が欲しい【A・B・D・E】 ・ 住民が利用できる身近な公園やスポーツ施設が欲しい【B】 ・ 埼玉を訪れる人が立ち寄る場所にしたい【D】 ・ フィルムコミッション (撮影場誘致) として活用【D】 ・ 避難訓練場所として活用【D】 ・ 池底広場を利用した総合型地域スポーツクラブ運営【A】 ・ 周辺用地にプール、シャワー施設などが欲しい【A】 ・ 小学校の運動会の開催【D】 ・ 夜間利用時の照明施設が欲しい【E】	1. 多目的広場 (舗装)【B・D・E】 2. スポーツ (テニス、サッカー、野球) 広場 (芝生)【A・B・D・E】 (芝生化プロジェクトの活用: 日本サッカー協会) 3. 水道【D・E】 4. トイレ【D・E】 5. カフェ (張り出しデッキなど)【A】 6. スポーツ関連施設 (プール、シャワーなど)【A】 7. 照明施設【E】			
				⑬ 駐車場利用		・ 埼玉の駐車場として活用【A】	1. 現在の駐車場をそのまま利用【A】
				⑭ 埼玉へのアクセス路の整備		・ 将来的な浦和美園駅と埼玉の動線の確保【A】	1. 調節池中央への通路や橋などの整備【A】
	⑮ 水遊び・親水			・ 池の水を常時残し、釣り場として利用【B】		1. 釣り場【B】	
	自然	⑯ 植栽	・ 池の周りにも並木が欲しい【E】	1. 池周囲への植栽 (桜や季節を感じる植物)【E】		・ 樹木の毛虫対策【E】	
		⑰ 生物生息空間の保全	・ 野鳥が来る自然を残したい【A・B】 ・ 用水路を活用して用水路と池、川の水の連続性を確保する【A・D】 ・ 優先的に池のビオトープの水質浄化を行う【E】	1. 現在の水たまり程度の大きさのビオトープ【A】 2. 池に水草を育成【E】 3. 用水路と池の接続水路【A】 4. 水質浄化 (水の循環)【E】		・ 天くぼ用水は暗渠の予定【A】	
	まち全体	公共空間を活かしたまちづくり機運醸成	⑱ その他	・ 地域に愛される場とするため愛称を設定【D】 ・ 周辺の都市公園と連携した整備【A】 ・ 幹線道路に賑わい施設を整備することで、綾瀬川沿いにも賑わいを発生させる。【B】		1. 愛称を公募する【D】	
			⑲ ミズベリング	・ ミズベリングへ登録しまち全体の水辺利用の機運を高める【D】		1. ミズベリング登録【D】	<ul style="list-style-type: none"> ・ まち全体での盛り上げ方を検討する必要がある【B・D】 ・ スタジアム参道をもっと活用すべき【D】

【 】: ワークショップにおいて意見のあった班名 (ワークショップはA、B、D、E 班の4 班体制で実施)